



Hewlett Packard
Enterprise

HPE OneView 5.3 (HPE Synergy 用) リリース ノート

摘要

本書では、HPE OneView 5.3 (HPE Synergy 用) の新機能、インストールとアップデート手順、および既知の制限事項について説明します。このリリースは、HPE OneView を搭載した HPE Synergy コンポーザーを使用する HPE Synergy 上のコンピュートモジュール、インターコネクト、およびストレージシステムの構成、管理、およびトラブルシューティングを行う管理者を対象としています。

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

商標

Intel[®]、インテル、Itanium[®]、Optane[™]、Pentium[®]、Xeon[®]、Intel Inside[®]および Intel Inside ロゴは、インテルコーポレーションまたはその子会社のアメリカ合衆国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft[®]および Windows[®]は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Adobe[®]および Acrobat[®]は、米国 Adobe Systems Incorporated の登録商標です。

Java[®]および Oracle[®]は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

UNIX[®]は、The Open Group の登録商標です。

すべてのサードパーティのマークは、それぞれの所有者に帰属します。



目次

リリース情報.....	4
HPE OneView のカスタマーエクスペリエンスの主な特長の説明.....	5
解決済みの問題.....	8
アプライアンスのインストールとアップデート時間.....	10
アップデート後のアプライアンスのバックアップ.....	10
問題と推奨処置.....	11
注記.....	20
Web サイト.....	22
HPE Synergy のドキュメントリソース.....	23
HPE Synergy ファームウェアアップデートリソース.....	24
HPE Synergy ドキュメントの概要（ドキュメントマップ）	27
HPE OneView Remote Technician.....	29
サポートと他のリソース.....	30
Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	30
アップデートへのアクセス.....	30
リモートサポート（HPE 通報サービス）	31
保証情報.....	31
規定に関する情報.....	31
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	32

リリース情報

このドキュメントでは、HPE OneView 5.3（HPE Synergy 用）のリリース情報を提供します。

対象読者	関連情報
すべてのユーザー	<ul style="list-style-type: none">・ HPE OneView のカスタマーエクスペリエンスの主な特長の説明・ 解決済みの問題・ サポートと他のリソース
新しいアプライアンスをインストールするか、以前の HPE OneView バージョンからアップデートするユーザー。	<ul style="list-style-type: none">・ アプライアンスのインストールとアップデート時間・ 問題と推奨処置

注記: HPE Synergy イメージストリーマーに関するお知らせ

HPE Synergy イメージストリーマーは、HPE OneView 5.3（HPE Synergy 用）と組み合わせる 5.3 バージョンはリリースしません。HPE OneView 5.3（HPE Synergy 用）は、HPE Synergy イメージストリーマー 5.20.01 バージョンをサポートします。

HPE OneView の詳細については、[Hewlett Packard Enterprise Information Library](#) を参照してください。

以前にリリースされた HPE OneView（HPE Synergy 用）の各種バージョンとアップグレードパスについては、[HPE Synergy ソフトウェアリリース](#) を参照してください。

- ❗ **重要:** この製品には、リリースされていない製品または機能への参照が含まれる場合があります。Hewlett Packard Enterprise は、そのような製品または機能を商業的にリリースまたはサポートしない権利を留保します。



HPE OneView のカスタマーエクスペリエンスの主な特長の説明

I. アプライアンスのアップデートのエクスペリエンス

・ アップデート時間の短縮

HPE OneView 5.3 にアップデートすると、HPE Synergy コンポーザーで HPE OneView 5.2 にアップデートする場合と比較して、アップデート時間が最大 25%短縮*されます。*注記：社内テストに基づく。

・ アップデートの信頼性の向上

HPE OneView 5.3 にアップデートすると、アップデートの信頼性が向上します。HPE OneView 5.3 にアップデートする前に HPE OneView Update Readiness Checker を実行すると、アップデートに失敗するリスクを軽減できます。さらに、HPE は、アップデート中の起動操作を最小限に抑え、アップデートの失敗を引き起こす可能性のある潜在的な問題を検出して防止するためのテスト作業を自動化することにより、アップデートの信頼性を強化しました。

・ HPE OneView Update Readiness Checker に追加された新しいチェック

アプライアンスを HPE OneView 5.3 にアップデートする準備ができていることを確認するには、最新バージョンの HPE OneView Update Readiness Checker を使用してください。HPE OneView Update Readiness Checker は、正常なアップデートに悪影響を与える可能性のある既知の条件がないか確認して HPE OneView アプライアンスの正常性を評価し、問題が見つかった場合は、修正手順を提示します。チェックする新しい項目は、定期的に HPE OneView Update Readiness Checker に追加され、最新バージョンは <https://www.hpe.com/support/ov-urc> でオンラインで入手できます。HPE OneView 5.3 GUI には新たに、最新の HPE OneView Update Readiness Checker を取得するための直接リンクが追加されています。

・ 詳細進捗インジケータ

HPE OneView 5.2 から HPE OneView 5.3 にアップデートする際は、詳細進捗インジケータが表示されます。詳細進捗インジケータには、完了した割合 (%) を示す進捗ステータスバー、アップデート中のタスクに関する詳細、そのタスクの推定時間、タスクの開始時刻が表示されます。HPE OneView 5.0 から HPE OneView 5.3 へのアップデートでは、完了した割合 (%) を示す進捗ステータスバーのみが表示されます。

II. ファームウェアアップデートのエクスペリエンス

FW アップデートの堅牢性、トラブルシューティング、および回復可能性の向上

ファームウェアインストールの信頼性に関する取り組みを継続する中で、HPE OneView 5.3 は新しいファームウェアインストール失敗検知アルゴリズムを実装し、ファームウェアインストールの再試行を検知、回復、再開することにより、Gen10 オンラインファームウェアアップデートの堅牢性を向上させました。

III. サポートのエクスペリエンス

・ OneView Analytics with InfoSight - 公開技術プレビュー

HPE OneView 5.3 は、お客様向けに公開技術プレビューを提供します。この公開技術プレビューは、アプライアンスレベルのデータを収集し、HPE が所有するバックエンドデータレイクに格納し、情報をマイニングするための俊敏な常時接続サービスを提供する当社の能力の強化につながります。これ

は、カスタマーアドバイザーとセキュリティ報告書に該当する関連インフラストラクチャの特定に限定されます。

・ **メンテナンスモード - MM 終了アラートと SNMP アラートの抑制の強化**

メンテナンスモードは、HPE OneView 5.2 で初めて導入されたもので、アラート通知メールを抑制します。今回のリリースでは、SNMP アラートも抑制され、自動的にクリアされなかった既存の警告やクリティカルアラートがあった場合に新しい終了アラートが生成されます。このアラートには、注意が必要な具体的なアラートを管理者が確認できるリンクが含まれます。サーバーリソースがメンテナンスモードのときに OneView Remote Support イベントが発生しても、このイベントは失われ、外部には受信されません。HPE データセンターへのデータ収集は、メンテナンスモード中は抑制されます。メンテナンスモードが終了すると、データセンターへのデータ収集が新たに開始され、メンテナンスモード中のシステムの変更が確実にキャプチャーされます。

・ **GUI 内にピン留めする HPE OneView メインメニューオプション**

HPE OneView グラフィカルユーザーインターフェイス (GUI) で、メインメニューをメイン画面にピン留めしたり、ピン留めを解除したりできるようになりました。メインメニューをピン留めすると、タスクを実行している間も GUI にメインメニューが表示されたままになります。メインメニューのピン留めを解除すると、インターフェイス内で作業しているときはメインメニューは表示されず、インターフェイスのドロップダウンアイコンをクリックしたときのみ表示されます。

・ **ロックされたアラートをお客様がクリアできる**

CSC とお客様の両方から、自動的にクリアされるべきだったがクリアされなかったライフサイクルアラートをクリアできるようにしてほしいというご要望がありました。これにより、管理者は物理的な状況を修正したら、ロックされたアラートをクリアできるようになり、データベースからアラートをクリアするために L2 エンジニアの支援を要求するサポートケースを開く必要がなくなりました。

・ **アラートでエラーコードを報告**

CSC から、アラート/イベントまたはタスクに起因するエラーメッセージに固有のエラーコードを含めてほしいというご要望がありました。これにより、OneView のどのソースコードが問題の原因となっている可能性があるかを特定して、お客様の問題とエスカレーションへのサービス提供を向上させることができます。また、研究開発チームがその原因となるさまざまなコードパスの診断トレースを改善できます。

IV. リモートサポート

HPE データセンターとのサーバーの接続性のリモートサポートテスト

新しいテスト機能により、HPE データセンターへのシステムの接続性を検証できるようになりました。iLO4 および iLO5 ベースの ProLiant サーバーで、OneView Remote Support ページから、テストイベントを HPE データセンターに送信して接続性を確認することができます。テストイベントによって、エンドツーエンドの接続性を確認するためのケースが生成されます。これにより、システムの後続のサービスイベントによってサポートケースが確実に生成されます。新しいテスト機能は、ProLiant サーバー以外の他のシステムタイプにも適用できるように今後のリリースで引き続き拡張されますが、OneView Remote Support UI から開始されたこれらのテストイベントによってのみ、サポートが維持されます。

V. インフラストラクチャのプロビジョニング管理エクスペリエンス

・ **サーバープロファイルの高速移動**

物理リソースを移動するお客様は、この機能を使用することで、サーバープロファイルの再適用にかかる全体的な時間が大幅に短縮されます。プロファイルがエラーなしで正常に適用された場合、管理者はサーバーの電源をオフにして、同じ OneView アプライアンスによって管理されている同じまたは異なるエンクロージャー/フレーム内の別の場所に物理的にサーバーを移動し、プロファイルを再度割

り当てることができます。プロファイルの完全な適用は実行されないため、プロファイルの割り当てと適用が迅速に行われ、管理者はサービスを短時間でリストアできます。

- ・ **iLO5/4 サーバー用の HTML5 iLO コンソールの利用開始**

HPE OneView 5.3 で HTML5 iLO コンソールがサポートされたため、iLO コンソールにアクセスするために Java ソフトウェアをインストールする必要がなくなりました。iLO バージョン最小要件を満たすすべての HPE ProLiant Gen8 以降のサーバーでサポートされています。

- ・ **Nimble - 5.1 混合プロトコルアレイサポート (FC+iSCSI ポート)**

HPE OneView 5.3 で、Nimble 5.1 混合プロトコルストレージ機能がサポートされました。具体的には OneView で、単一のストレージアレイ上の FC ポートと iSCSI ポートをどちらも使用する Nimble 5.1 マルチプロトコルがサポートされました。お客様は、ボリュームの使用率に基づいて、ユースケースに最適なプロトコルを使用できます。両方のプロトコルを同時に使用してストレージにアクセスするようにサーバーを構成できます。さらに、両方のプロトコルを同時に使用してストレージにサービスを提供するようにストレージシステムを構成できます。

- ・ **同じポート上の複数の FlexNIC に同じ VLAN を割り当てる**

同じホスト上で隣接する vNIC で同じ VLAN を再利用できるようになり、カスタマーエクスペリエンスが強化されました。この機能により、お客様は同じポート上の複数の FlexNIC に同じ VLAN を割り当てることができます。

- ・ **強制オプションなしで VC インターコネクト LI をダウングレード可能**

強制オプションなしで LI/VC インターコネクトファームウェアをダウングレードできるようになり、カスタマーエクスペリエンスが強化されました。この機能強化により、強制オプションを使用せずに、インターコネクトが構成されていないインターコネクトのファームウェアの任意のバージョンをアップデートまたはダウングレードすることができます。強制オプションを使用すると、現在の既知の正常なモジュールもリロードされます。

- ・ **ネットワークセットによりネットワークが追加された場合に LIG/LI アップリンクセットにインジケータを表示**

HPE OneView で、アップリンクセットに関連付けられているすべてのネットワークと、そのネットワークがどのネットワークセットによってアップリンクセットに組み込まれたかを視覚的に確認できるようになりました。具体的には、この機能によって、アップリンクセットに個々に追加された（そのため個々に削除できる）ネットワークと、ネットワークセットの一部として（そのため、ネットワークセット全体としてしか削除できない）アップリンクセットに追加されたネットワークを視覚的に区別できます。

- ・ **ポートに SFP が装着されていることを示す視覚インジケータ**

HPE OneView に、ネットワークポートに SFP が装着されていることを示す視覚インジケータが追加されました。お客様は、OneView の概要画面でケーブル挿入操作を視覚的に確認できます。アップリンクポートセクションに移動して展開し、コネクタが装着されているかどうかを確認する必要はありません。

解決済みの問題

このセクションでは、HPE OneView 5.3（HPE Synergy 用）で解決された問題を説明します。

- 工場出荷時設定へのリセットオプションを使用して高セキュリティモードで iLO サーバーを構成した後に、iLO サーバーが検出されない場合に発生するエラーのエラーメッセージが改善されました。エラーメッセージで問題を説明し、対応策を提案しています。
詳しくは、[カスタマーアドバイザリ](#)を参照してください。
- 短時間で内部タスクを作成すると HPE OneView の応答性が低下するという問題が解決されました。
- 日付と時刻の設定を変更すると、HPE Synergy コンポーザーまたはコンポーザー 2 の再イメージに失敗するという問題が解決されました。
- HPE OneView を 5.00.02 バージョンにアップグレードした後、OS 展開サーバーが**未接続状態**と表示されるという問題が解決されました。
- HPE Synergy コンポーザー 2 を使用して CA 署名証明書を HPE Synergy に追加するときに発生するエラーのエラーメッセージが改善されました。
- 完了した割合（%）の計算タスクの結果がアプライアンスで定義された範囲を超えた場合にエラーが表示されるという問題が解決されました。エラーは、終了状態以外の古いタスクでのみ発生します。
- 非管理対象ポートが、管理対象ストレージシステム（予期されたネットワークまたは SAN のないポート）から削除されると、ストレージシステムとそれに関連付けられたプールおよびボリュームとの間のリンクを UI で追跡できなくなるという問題が解決されました。
- HPE Virtual Connect SE 100Gb F32 モジュール（HPE Synergy 用）を論理エンクロージャーで再構成すると、構成エラーの状態になるという問題が解決されました。
- HPE OneView から HPE OneView Update Readiness Checker をアップロードしているときに、最初のクリック後に**アップデート**ボタンが無効になるという問題を解決しました。
詳しくは、[カスタマーアドバイザリ](#)を参照してください。
- アプライアンスからインターネットにクエリを実行しているときに、HPE OneView が内部 DNS（ドメインネームシステム）サーバーではなく外部 DNS サーバーから情報を取得しようとするという問題が解決されました。問題を説明するエラーメッセージのガイダンスが改善されました。
- フレームリンクモジュールが、キースタの書き込み制限に達したため、論理エンクロージャーにキースタを書き込めない場合に、HPE OneView にアラートが表示されるという問題が解決されました。
- あるシステムで HPE OneView バックアップを取得中にアラートが生成された場合、アプライアンスを別のシステムでリストアした後も、そのアラートがクリアされないという問題が解決されました。
- HPE Virtual Connect SE 40Gb F8 モジュール（HPE Synergy 用）または HPE Virtual Connect SE 100Gb F32 モジュール（HPE Synergy 用）のいずれかでフレームをオフにした後、HPE Synergy コンポーザーをスタンバイモードで手動でアクティブにし、以前のアクティブフレームをオンにした場合、インターコネクトリンクトポロジエラーが表示されるという問題が解決されました。
- ファームウェアをベースラインにアップデートした後も、サーバープロファイルにベースライン不整合の警告メッセージが表示されるという問題が解決されました。
- 予約された範囲の IP アドレスでサーバーを構成して発生したエラーのエラーメッセージが改善されました。
- HPE Synergy コンポーザーのメインボードの交換中に、ファームウェアをアップデートするために HPE OneView を再イメージする必要があるというエラーが解決されました。

- ・ LIG の作成中に HPE OneView によってすべての入力フィールドが検証されないため、論理インターコネクトグループ (LIG) のアップリンクセットからネットワークを作成または削除できないという問題が解決されました。
- ・ HPE OneView の 5.00.02 から 5.2 へのアップグレードに失敗すると、リソースマネージャーに障害が発生するという問題が解決されました。この問題は、キャッシュにデータがロードされないときに HPE OneView を再起動すると発生します。
- ・ 論理インターコネクト (LI) と Logical Just Bunch Of Disks (LJBOD) の両方からドライブエンクロージャーを削除した後、ドライブエンクロージャーが見つからないというエラーメッセージが生成される問題が解決されました。
- ・ iLO 5 ファームウェアのステージング中に、サーバープロファイルテンプレート (SPT) からの複数のサーバーのアップデートに失敗するという問題が解決されました。
- ・ HPE OneView 3.1 以前のバージョンからは 5.2 にアップグレードできないという問題が解決されました。
- ・ サーバープロファイルテンプレート (SPT) の添付ファイルの上限を示すようにエラーメッセージが改善されました。サーバープロファイルの添付ファイルが 100 を超える場合は、SPT をアップデートできません。
- ・ **管理ネットワーク**リストに値が表示されていない場合、OS 展開サーバーを作成できないという問題が解決されました。
- ・ HPE OneView 経由でカスタム SPP を作成しても、ファームウェアホットフィックスをアップデートできないという問題が解決されました。
- ・ ローカルストレージ構成で論理ドライブを定義した後、コントローラーに重複した論理ドライブをインポートしても、HPE OneView でエラーメッセージが生成されないという問題が解決されました。
- ・ ファームウェアアップデートが 3 日以上スケジュールされている場合と、状態が変化した場合、サーバープロファイルのタイムスタンプが現在の時刻にアップデートされないという問題が解決されました。
- ・ Service Pack for ProLiant (SPP) の一部のコンポーネントではインストールの前に再起動が必要なため、SPP ファームウェアのインストールに失敗するという問題が解決されました。
- ・ SPP を再度追加しないですべての SPP を自動的に除去して再検出することで HPE OneView と SUM as a Service (SAAS) の耐障害性が向上しました。
- ・ UI または REST API のいずれかを使用して HPE OneView で HTTP プロキシアドレスを構成した後、アプライアンスからプロキシアドレスを削除できなくなるという問題が解決されました。
- ・ ログファイルがファイルサイズの上限に達した後に、ログローテーションプロセスに失敗すると、HPE OneView 5.0 以降のバージョンは動作を停止するという問題が解決されました。

アプライアンスのインストールとアップデート時間

アップデートイメージファイルは、<https://www.hpe.com/downloads/synergy> の HPE Synergy ソフトウェアリリースで入手できます。

HPE Synergy コンポーザーをアップデートするには、リブートが数回必要です。アップデートは、高可用性構成のアクティブコンポーザーとスタンバイコンポーザーの両方で実行されます。

HPE OneView 5.2 から HPE OneView 5.3 へのアップデート

リブートを含め、アクティブとスタンバイのコンポーザーでアップデートを完了するための合計時間は、HPE Synergy コンポーザー 2 の場合は 1.5 時間未満、HPE Synergy コンポーザー（第 1 世代）の場合は約 2 時間です。

注記:

- これらの進行中は、コンポーザーまたはコンポーネントを再起動したりリセットしないでください。中断した場合は、バックアップからのリストアが必要になります。
アップデート手順については、[HPE OneView ファームウェアおよびドライバアップデートガイド \(HPE Synergy 用\)](#)を参照してください。
- HPE OneView をアップデートする前に、HPE OneView Update Readiness Checker の最新バージョンをダウンロード、インストール、および実行して、HPE OneView の正常性を評価します。このチェッカーをダウンロードするには、<https://www.hpe.com/support/ov-urc> にアクセスしてください。
詳しくは、[HPE OneView \(HPE Synergy 用\) ユーザーガイド](#)と、ダウンロードに含まれる README ファイルを参照してください。

アップデート後のアプライアンスのバックアップ

アプライアンスをアップデートした後に、バックアップファイルを作成してダウンロードします。

アプライアンスのファームウェアバージョンの書式は次のとおりです。

majornumber.minornumber.revisionnumber-buildnumber

バックアップファイルからリストアする場合、アプライアンスのファームウェアバージョンのメジャー番号とマイナー番号は、バックアップが作成されたときのものと同じである必要があります。リビジョン番号とビルド番号は一致しなくても構いません。

HPE OneView 5.3 (HPE Synergy コンポーザー用) と同一のハードウェアモデルで作成されたバックアップファイルのみリストアすることができます。

バックアップを実行する方法の詳細については、[HPE OneView \(HPE Synergy 用\) ユーザーガイド](#)を参照してください。

問題と推奨処置

DHCP 環境でアプライアンスの Maintenance Console から HPE Synergy コンポーザーおよび HPE Synergy コンポーザー 2 のネットワークを構成できない

問題：

動的ホスト構成プロトコル（DHCP）環境で、初期セットアップ（FTS）を実行する前に不正確な完全修飾ドメイン名（FQDN）を使用すると、アプライアンスの Maintenance Console で HPE Synergy コンポーザーおよび HPE Synergy コンポーザー 2 の HPE OneView IP アドレスを構成できません。

推奨処置：

1. ブラウザーからキオスクモードで HPE OneView にアクセスし、アプライアンスの FTS を完了します。
2. アプライアンスの Maintenance Console からネットワークを構成し、操作を実行します。

ブラウザーから HPE OneView にアクセスしているときに、ARP プローブメッセージを送信すると、少しの間、アプライアンスに到達できない。

問題：

ブラウザーから HPE OneView を使用しているときに、ネットワークデバイスからアドレス解決プロトコル（ARP）プローブメッセージを送信すると、少しの間、アプライアンスにアクセスできなくなります。

推奨処置：

推奨されるアクションはありません。

HPE OneView Remote Support を有効または無効にする操作中にアプライアンスを再起動すると、HPE OneView がタスクを中断する

問題：

HPE OneView Remote Support を有効または無効にする操作中に HPE OneView を再起動すると、タスクが中断されます。そのため、HPE OneView Remote Support は有効または無効になりません。

推奨処置：

1. HPE OneView を手動で更新します。
2. 次のいずれかを実行します。
 - ・ HPE OneView Remote Support を有効にする場合は、いったん無効にして、プロセスが完了するまで待ってから、再度有効にします。
 - ・ HPE OneView Remote Support を無効にする場合は、いったん有効にして、プロセスが完了するまで待ってから、再度無効にします。

iLO 4 または iLO 5 サーバー用に生成されたテストイベントで、テストイベントのメール通知が生成される

問題：

iLO 4 または iLO 5 サーバーのテストイベントを作成すると、HPE OneView によってそのテストイベントに対するメール通知が生成されます。

推奨処置：

推奨されるアクションはありません。

HPE Virtual Connect SE 100Gb F32 モジュール（HPE Synergy 用）が IPv4 アドレスとして 0.0.0.0 を保持することがある

問題：

DHCP が有効になっている HPE Virtual Connect SE 100Gb F32 モジュール（HPE Synergy 用）が、インターコネクトモジュールの起動時に DHCP サーバーに接続できない場合、その IPv4 アドレスがデフォルトで 0.0.0.0 になっています。静的 IPv4 アドレスを使用するようにインターコネクトを再構成しても、0.0.0.0 アドレスは置換されません。

推奨処置：

HPE Virtual Connect SE 100Gb F32 モジュール（HPE Synergy 用）をリセットして、IPv4 アドレスを受信します。インターコネクトモジュールが DHCP を使用するように構成されている場合、インターコネクトを再設定する前に、DHCP サーバーにアクセスできることを確認してください。

ファームウェアのアップグレード中にサーバープロファイルからサーバーを削除または再追加できない

問題：

サーバープロファイルで、ファームウェアのアップデート中にサーバーを削除または再追加すると、HPE OneView に次のエラーメッセージが表示されます。

デバイスベイス#の変更処理中に、予期しない問題が発生しました。

推奨処置：

ファームウェアアップデートが完了するまでお待ちください。ファームウェアをアップデートした後に、サーバープロファイルからサーバーを削除または再追加します。また、ファームウェアアップデートの進行中は、サーバーの電源を切らないでください。

詳しくは、サポートスペシャリストにお問い合わせください。

QoS を編集するか、論理インターコネクトを再構成すると、インターコネクトが構成エラーになる

問題：

QoS の一部として構成された最大帯域幅は、最小帯域幅の値よりも小さくすることはできません。ところが、状況によっては、イーサネットネットワークの最大帯域幅が、同じダウンリンクポート上の FCoE ネットワークの最小帯域幅の値よりも小さい値に設定されている場合に、この問題が発生する可能性があります。

推奨処置：

1. イーサネット接続と FCoE 接続の両方が同じ物理ダウンリンクポート上にあるサーバープロファイルを見つけます。
2. 最大帯域幅が FCoE 接続の要求帯域幅よりも小さい値に設定されているイーサネット接続がないか確認します。
3. イーサネットネットワークのリンクをクリックするか、ネットワークページでイーサネットネットワークを見つけます。
4. イーサネットネットワークの最大帯域幅を編集して、FCoE 接続の要求帯域幅より大きい値にします。
5. 論理インターコネクト構成を再適用します。

ToR スイッチが再起動されると、誤った LAG ステータスにより、[論理インターコネクト]ページでアラートがトリガーされる

問題：

アップリンク LAG のある ToR スイッチが再起動されると、HPE OneView の[論理インターコネクト]ページに、ToR の LAG ステータスがアクティブであるにもかかわらず、LAG ステータスがアクティブからスタンバイに変更されたという警告が報告されます。

推奨処置：

これは、手動でクリアできる誤ったアラートです。

データベースで使用できるにもかかわらず、ストレージシステムのインデックス関連付けが見つからない問題：

管理対象ストレージシステムの非管理対象ポートが削除されると、HPE OneView はストレージシステムとそれに関連するプールおよびボリュームの間にリンクを描画できません。ただし、REST 情報への影響はありません。

推奨処置：

HPE OneView を再起動します。

外部ファームウェアレポジトリの使用中に、HPE OneView でディスクスペース不足が報告される

問題：

外部ファームウェアレポジトリを使用している場合、HPE OneView アプライアンスが次のメッセージを表示します。

アプライアンスのディスクスペース使用率が警告しきい値を超えています。

推奨処置：

HPE OneView は、パフォーマンス上の理由から、外部レポジトリにあるファームウェアバンドルからメタデータファイルをキャッシュします。レポジトリに多くのファームウェアバンドルが保存されている場合、アプライアンス上のディスクスペースが不足する可能性があります。アプライアンスのディスクスペースを最適に使用するためのベストプラクティスは次の通りです。

- ・ 未使用のファームウェアバンドル ISO とホットフィックスが、外部レポジトリから削除されていることを確認します。
- ・ 同じレポジトリが複数の HPE OneView アプライアンスで使用されている場合、ベストプラクティスは、バンドルを複数のサブディレクトリに分散させた後に、これらのサブディレクトリをそれぞれのアプライアンスに追加することです。

注記: アプライアンスのディスクがいっぱいになる状況は他にもあります。外部ファームウェアレポジトリがない場合、または外部レポジトリにファームウェアバンドルがわずかしかない場合にこの警告が表示される場合は、サポートスペシャリストに連絡し、サポートダンプを提示してください。

未割り当てのサーバープロファイルを再割り当てするときに、サーバープロファイルへの変更がサーバーに適用されない場合がある

問題：

サーバープロファイルを同じサーバーハードウェアに再割り当てするとき、サーバーハードウェアに以前に割り当てられていた未割り当てのサーバープロファイルは、アップデートされたプロファイル設定を適用できません。特に、サーバープロファイルのファームウェア、BIOS、またはローカルストレージへのアップデートは、サーバーハードウェアに適用されない場合があります。

推奨処置：

以下のいずれかの操作を実行してください。

- ・ サーバーにプロファイルを割り当てるときに、ファームウェア、BIOS、ローカルストレージの設定を編集します。
- ・ プロファイルを割り当てた後、必要に応じて個々の設定を選択して、サーバープロファイルを再適用します。

Internet Explorer のコンテキスト依存ヘルプの制限

問題：

HPE OneView のコンテキスト依存ヘルプに、Internet Explorer のバナーと検索オプションが表示されません。

推奨処置：

この制限を回避するには、Google Chrome を使用します。

ダウンリンクポートの速度変動により、FCFA LUN の入出力 (IO) 動作が遅くなる

問題：

Synergy 用 Virtual Connect SE 100Gb F32 モジュールで、ダウンリンク速度が 50G から 25G または 25G から 50G に変化すると、ダウンリンクポートに関連する構成がフラッシュされます。速度の変化により、ダウンリンクポートが ACL から削除され、FC トラフィックが影響を受けます。

推奨処置：

- ・ 論理インターコネクットのサービス品質 (QoS) 構成をパススルーまたはカスタム (FCoE ロスレスあり) のいずれかに変更するか、あるいは反対にカスタム QoS 設定を Synergy 用 Virtual Connect SE 100Gb F32 モジュールに適用します。
- ・ 論理インターコネクットで**グループからのアップデート**を実行して、以前の構成に戻します。

sFlow が有効になっている同一 VLAN 上にあるサーバーの DHCP トラフィックを HPE OneView で受信できない

問題：

インターコネクットモジュールとサーバーの sFlow に同じ VLAN を使用すると、サーバーが DHCP IP アドレスを取得しないため、DHCP ネゴシエーションが禁止されます。これらのサーバーに IP アドレスを静的に割り当てても解決できませんが、sFlow に使用される VLAN で静的 IP アドレスを使用することは推奨されません。

注記: Virtual Connect ファームウェアにのみ適用されます。

推奨処置：

- ・ IVR VLAN は sFlow エージェントにのみ使用し、他のルーティング目的には使用しないでください。
- ・ sFlow エージェントには IVR L3 VLAN を使用し、他のスイッチング目的には別の L2 VLAN を使用します。

停電からの復旧により、HPE OneView のインターコネクットモジュールが未構成の状態のままになる

問題：

HPE OneView は、停電から復旧した後、インターコネクットモジュールを構成できません。

エンクロージャーの停電時に、LLDP タギングが有効になっている論理インターコネクットに関連付けられているインターコネクットで、Configuring から ConfigError への過渡的な状態変化が発生します。

推奨処置：

インターコネクトモジュールをリセットして、エラー状態から復旧させます。

カスタマイズされた帯域幅構成が論理インターコネクト GUI に表示されない**問題：**

HPE OneView 論理インターコネクト GUI は、インターコネクトが次のデフォルト帯域幅を持つ 24 個すべてのダウンリンクポートで構成されている場合、カスタマイズされた帯域幅構成を表示しません。

最小帯域幅構成 = 50% および 最大帯域幅 = 100%。

推奨処置：

推奨されるアクションはありません。

ブラウザーに HPE OneView インターフェイスが表示されない**問題：**

ブラウザーのキャッシュがいっぱいであるため、ブラウザーに HPE OneView インターフェイスが表示されません。

推奨処置：

- ・ ブラウザーのキャッシュをクリアして、再試行します。
- ・ ブラウザーを更新するか、再ロードします。

IP アドレスの変更が原因で HPE OneView のデバイスにアクセスできない**問題：**

HPE OneView アプライアンスの IP アドレスをサブネット間で変更すると、以前のサブネット内の監視対象デバイスまたは管理対象デバイスにアクセスできなくなります。

推奨処置：

HPE OneView を再起動します。

HPE OneView でサーバープロファイルを正常に削除できない**問題：**

HPE OneView で、複数のプロファイルの削除が同時に試行された場合、または HPE OneView アプライアンスの負荷が高い場合、サーバープロファイルを削除できないことがあります。

推奨処置：

サーバープロファイルを削除するアクションを再度実行してください。

注記: 削除アクションを完了できるまで、複数回実行する必要がある可能性があります。

複数のクラスタープロファイルの作成またはインポート後に、整合性確認に時間がかかる**問題：**

大規模環境では、複数のクラスタープロファイルを作成またはインポートすると、HPE OneView で多数のハイパーバイザーマネージャーイベントが生成されます。整合性の修復は、チェックを完了してアラートをクリアするのに時間がかかります。

推奨処置：

このような場合は、約 10 分間待ってから、クラスタープロファイルで操作を実行します。

HPE iLO の Active Health System が、HPE OneView によって管理されるサーバーハードウェアの変更を記録できない

問題：

Remote Support を使用すると、通常スケジュールされている AHS ログの収集が完了せず、次のメッセージが表示される場合があります。

操作は予定よりも時間がかかっています。

推奨処置：

iLO Active Health の収集を手動で再実行します。

HPE OneView の接続のコンプライアンス確認が正しくない

問題：

サーバープロファイルをサーバープロファイルテンプレートと一致させる自動修正が失敗し、サーバープロファイルでポート設定が変更されたときにコンプライアンスの問題が発生します。

推奨処置：

プロファイルのポート設定を手動でアップデートして、テンプレートに一致させます。

サーバーのプロファイル設定とサーバーのハードウェア構成との不一致が、リストア、バックアップ、および再イメージ後に報告される

問題：

リストア、バックアップ、および再イメージング後にサーバーハードウェアを更新すると、次の不整合アラートが返されることがあります。

サーバープロファイル設定がサーバーハードウェア構成と競合します。

推奨処置：

1. サーバーの電源を切断します。
2. サーバープロファイルを再適用してください。

ダウンリンク速度が変更されると、構成されたローカルポート監視が機能しなくなる

問題：

Synergy 用 Virtual Connect SE 100Gb F32 モジュールとの論理インターコネクトのダウンリンク速度が変更されると、アナライザーポートとして構成されたダウンリンクポートに関連付けられたローカルポート監視が動作を停止します。

推奨処置：

影響のある論理インターコネクトに構成を再適用してください。

HPE OneView および iLO が CNSA モードである

問題：

管理対象サーバーの iLO が Commercial National Security Algorithm (CNSA) モード、またはスイート B モードの場合、HPE OneView コンソールから iLO UI またはコンソールにアクセスできません。

推奨処置：

推奨されるアクションはありません。

英語以外のディレクトリサーバーのグループ名が一部のブラウザで表示されない

問題：

ディレクトリサーバーが、中国語や日本語など英語以外のグループ名で構成されていて、Microsoft Internet Explorer 11、Firefox 57 以降、または Chrome 64 以降のバージョンのブラウザを使用している場合、中国語または日本語のグループ名を選択した後にグループの追加操作を行っても、構成したグループがリストに表示されません。このことは、Active Directory、または Open LDAP ディレクトリにも当てはまりません。

推奨処置：

Microsoft Edge を使用します。

HPE OneView の Web サーバー証明書をアップデートできない

問題：

HPE OneView へのアップデートが、以下の場合に成功しないことがあります。

- ・ アプライアンスの Web サーバー証明書の有効期限が切れている。
- ・ アプライアンスの Web サーバー証明書が 24 時間以内に期限切れになる。

次のエラーメッセージが表示されます。

[エラー]アプライアンスの web サーバー証明書の有効期限が切れているか、古い証明書に戻されています。アップグレードを続行できません。新しいアプライアンスの自己署名証明書を再生成するか、新しい CA 署名アプライアンス証明書を再インポートしてください。その後、アップデートを再度実行してください。

推奨処置：

1. アプライアンスの証明書が有効であることを確認します。以下の項目は、無効な証明書を示しています。
 - ・ 証明書の有効期限が切れている場合、または証明書が 24 時間以内に期限切れになる場合。
 - ・ 証明書が SHA-1 証明書の場合。
 - ・ 証明書で以前その証明書に対して構成された組織情報が失われている場合。アプライアンス証明書が期限切れになり、アップデートされた証明書をインストールする前にアプライアンスを再起動すると、一部の情報が失われる可能性があります。
 - ・ 以前は CA 署名証明書をインストールしていたものの、現在のアプライアンス証明書がインストール済みの証明書ではない場合。アプライアンス証明書が期限切れになり、アップデートされた証明書をインストールする前にアプライアンスを再起動すると、正しくない証明書が表示されることがあります。

このような場合は、アプライアンスの自己署名証明書を再生成するか、新しい CA 署名証明書をインポートしてください。

2. その後、アップデートを再度実行してください。

スキャンツールによって脆弱な SSH 暗号の問題が報告される

問題：

Nessus などのセキュリティ脆弱性スキャンツールによって、HPE OneView の SSH サーバーが、攻撃者による暗号文からプレーンテキストメッセージへの復元が可能になる暗号ブロック連鎖 (CBC) 暗号化をサポートしていると報告されます。

推奨処置：

現時点では、対処は不要です。



異なるデプロイメントネットワークで別の論理エンクロージャーにサーバープロファイルを移動できない

問題：

OS デプロイメント設定で構成されたサーバープロファイルを別の論理エンクロージャーおよびデプロイメントネットワークに移行すると、デプロイメント接続が、新しく選択されたエンクロージャーグループで構成されたネットワークによってアップデートされず、プロファイルアップデートで次のエラーが表示されます。

プロファイルをアップデートできません：プロファイルが OS デプロイメント設定で構成されている場合は、IP アドレスソースは"SubnetPool"にのみ設定できます。

推奨処置：

エンクロージャーグループを変更した後のサーバープロファイルのアップデート操作中に、以下の手順を実行してください。

1. デプロイメントプランの割り当てを解除します。
2. デプロイメント接続を削除します。
3. デプロイメントプランの再割り当てを行います。

ESXi FCoE Boot from SAN

問題：

ESXi 6.0 レガシードライバーを使用して Boot from SAN を実行するときに、ブート対象のサーバーを介した VLAN が削除、リストア、または交換された場合、ESXi サーバーにより SAN へのアクセスが削除されます。

推奨処置：

ESXi サーバーの電源をオンにしてブートするときにアップリンクセットに VLAN をリストアして、SAN へのアクセスをリストアしてください。

期限切れの証明書を解決するための指示の不一致

問題：

アプライアンスの Web サーバー証明書の有効期限が切れると、HPE OneView で以下のアラートが表示されます。

アプライアンスの Web サーバー証明書の有効期限が切れています。

推奨処置：

アプライアンスの Web サーバー証明書を再インポートするか構成します。アプライアンスの Web サーバー証明書を構成するには、以下の手順を実行します。

1. HPE OneView にログインします。
2. **OS 展開サーバー**をクリックします。
3. **イメージストリーマー UI** に対する**イメージストリーマーアプライアンスの IP アドレス**をクリックします。
ブラウザの新しいタブで**イメージストリーマーアプライアンスの UI**が開きます。
4. **デプロイメントアプライアンス**をクリックします。

5. アクションをクリックします。
6. CA 署名証明書を構成するには、自己署名証明書の作成か、アプライアンス証明書署名リクエストの作成を選択します。

ToR スイッチが送信モードで構成されている場合、HPE Synergy 4820C 10/20/25Gb コンバージドネットワークアダプターからの FCoE 接続でファブリックログインリクエストに失敗する

問題：

トップオブラック (ToR) スイッチが送信モードで構成されている場合、HPE Synergy 4820C 10/20/25Gb コンバージドネットワークアダプターからの Fibre Channel over Ethernet (FCoE) 接続でファブリックログインリクエストに失敗します。その結果、ターゲット上でプロビジョニングされている論理ユニット番号 (LUN) が、ホスト上で表示されません。

推奨処置：

ToR スイッチの構成を、インターコネクトモジュールでサポートされているいずれかのモードに変更します。

HPE Synergy 40Gb F8 スイッチモジュールでは、Fibre Channel Forwarder (FCF) と N-Port Virtualization (NPV) の両方のモードがサポートされます。ただし、モジュールでは送信モードがサポートされません。

HPE OneView は、3PAR および Primera Persistent Ports ペアのさまざまなインターコネクトモジュールへの直接接続をサポートすることができない

問題：

アプライアンスは、3PAR StoreServ または Primera アレイのポートのペアが Persistent Ports のフェイルオーバー用に構成され、エンクロージャー上の 2 つの異なるインターコネクトモジュールに直接接続するようにケーブル接続されているストレージ構成をサポートしていません。

推奨処置：

アレイの Persistent Port 機能を (アレイのすべてのポートで) 無効にするか、直接接続ケーブルを変更して、パートナーになっているポートが同じインターコネクトモジュールに接続されるようにします。

HCP をインポートすると、無効な OS デプロイメントプランを設定できる

問題：

ハイパーバイザークラスタープロファイル (HCP) をインポートすると、適切なサーバープロファイルテンプレートに関連付けられたエンクロージャーグループで OS デプロイメント設定が構成されていない場合でも、無効な OS デプロイメントプランを設定することができます。インポートが完了すると、これにより HCP で不整合が報告される結果となります。HCP でこれらの不整合は修正されません。

推奨処置：

HCP をインポートした場合、有効なデプロイメントプランを指定するか、デプロイメントプランを HCP に適用できない場合はデプロイメントプランをなしに指定してください。

iLO 5 サーバーでの HPE OneView SNMP 構成に関する問題

問題：

iLO 5 が管理対象サーバーでリセットされたときに、HPE OneView の管理対象サーバーハードウェアが即時に更新された場合、SNMP の構成に一貫性がなく、iLO 5 からの SNMP トラップが HPE OneView で受信されません。

推奨処置：

iLO が応答を開始した後に約 1 分待ってから、HPE OneView でサーバーを再度更新してください。これにより、iLO の SNMP 設定がリストアされ、HPE OneView がサーバーの監視と管理を継続できるようになります。

注記

HPE Synergy コンポーザーとサポートされるフレーム数

HPE Synergy コンポーザー（第 1 世代）（804353-B21 または 804353-B22）が、HPE OneView 5.2 以降を実行している場合、単一の管理リング内でサポートされる管理対象フレームの数は、最大 12 フレームに制限されます。12 を超えるフレーム数を保持して、HPE Synergy コンポーザー 2（872957-B21 または 872957-B22）にアップグレードできるようにして、サポート対象構成を維持するか、または修復手順について HPE のアカウントチームに連絡することをお勧めします。

セキュリティが強化された HPE Synergy 12Gb SAS 接続モジュールの動作

HPE OneView 5.2 以降は、安全な TLS 通信を実現するために、デフォルトで強力な証明書チェックを実行します。サービスの障害を回避するために、アップグレード手順では、接続モジュールのファームウェアバージョンをチェックします。接続モジュールのファームウェアバージョンが 1.5.xx の最小レベルより低い場合、およびリーフ証明書の期限切れをチェックするオプションが HPE OneView の[セキュリティ]設定で有効になっている場合、HPE OneView はアップグレードプロセスを終了します。

拡張セキュリティチェックをサポートするために、まず SAS 接続モジュールのファームウェアを 1.5.xx にアップデートした後に、HPE OneView 5.2 以降のバージョンにアップグレードすることをお勧めします。

HPE OneView の設定 > セキュリティ画面には、期限切れのデバイス証明書を無視するオプションがあります。このオプションはデフォルトで無効です。

または、HPE OneView を 5.0 以降にアップグレードする前に、設定 > セキュリティを編集し、リーフ証明書の期限切れをチェックするオプションを無効にします。SAS 接続モジュールのファームウェアをアップデートした後、設定 > セキュリティ画面を編集し、リーフ証明書の期限切れをチェックするオプションを再度有効にします。

このオプションが無効になっている HPE OneView アプライアンスの場合、アップグレードは SAS 接続モジュールの最小ファームウェアリビジョンチェックをスキップし、アップグレードの続行を許可します。アップグレード後、接続モジュールのアラートが表示され、強力な証明書チェックを有効にするにはファームウェアアップデートが必要であることが説明されます。このアラートを解消するには、アラートで提案された解決策の手順に従ってください。

注記: アップグレード後に、ファームウェアアップデートを実行してから、リーフ証明書の期限切れをチェックするオプションを有効にすることが重要です。

Google アナリティクスの使用

HPE OneView 4.2 から、Google アナリティクスとの統合機能が導入されました。匿名ユーザーインターフェイスの使用状況データは、ユーザーのブラウザから Google アナリティクスに送信されます。これにより、HPE は製品の使用方法と改善方法を把握できます。Hewlett Packard Enterprise では、個人情報を収集しません。

ユーザーは、HPE OneView エンドユーザーライセンス契約（EULA）に同意するときに、HPE OneView の Google アナリティクスの使用をオプトインします。

EULA には、Hewlett Packard Enterprise のプライバシーポリシー（<https://www.hpe.com/us/en/legal/privacy.html>）およびデータ収集へのリンク（<https://www.hpe.com/us/en/legal/privacy.html#datacollection>）が含まれており、Google アナリティクスのトラッキングをオプトアウトする方法について説明しています。

HPE OneView の管理者は、設定 > セキュリティ > アクションメニュー > 製品の改善メニューを使用して、Google アナリティクスの追跡をオプトアウトすることもできます。

追加情報：

- ・ 収集される情報は、標準的な Google アナリティクスデータであり、追加されるのは現在使用している HPE OneView のバージョンのみです。
- ・ HPE OneView Global Dashboard も、リリース 1.5 から Google アナリティクスを統合しています。

サポートされる iSCSI ブート構成

次のパラメーターがサポートされています。

- ・ IPv4
- ・ 静的 IP アドレスと DHCP 割当て済み IP アドレス
- ・ SW iSCSI (ソフトウェアイニシエーター) および HW-iSCSI (iSCSI オフロード、ハードウェア支援イニシエーター)

iLO 4 デバイスの管理

iLO 4 を使用するデバイスを管理する場合、HPE OneView 4.0 以降は、iLO 4 ファームウェアバージョン 2.55 以降で最適に動作します。お客様のデバイスに iLO 4 ファームウェアバージョン 2.3x をお持ちの場合は、Hewlett Packard Enterprise は、お持ちの iLO 4 ファームウェアをバージョン 2.55 以降にアップデートしてから HPE OneView 3.0 以降を用いたデバイス管理を開始されることを強くお勧めします。

システムボードの交換

サーバーがメンテナンスのために取り外された場合、ネットワークセキュリティの検証が完了しない場合は、HPE OneView (HPE Synergy 用) の電源がオンになりません。新しいサーバーが取り付けられると、HPE Synergy は同じサーバーと構成が使用されているかどうかをチェックします。元のサーバーの UUID が新しく取り付けられたサーバーの UUID と一致する場合、自動的にサーバーの電源がオンになります。ただし、元のサーバーの UUID が新しく取り付けられたサーバーの UUID と一致しない場合、サーバープロファイルには新しいサーバーが認識されないことを示すエラーが表示されます。同じハードウェアタイプの同じサーバーが取り付けられているが、HPE Synergy によって認識されていない場合は、再度適用と取り付けを行う必要があります。または、新しいサーバーが元のサーバーと一致しない場合、サーバープロファイルを削除し、一致する正しいサーバーを取り付ける必要があります。

システムボードを交換する場合、UUID を UEFI システムユーティリティを通じて手動で再プログラミングし、サーバーを再起動して、サーバープロファイルの割り当てを解除する必要があります。これにより、サーバーの電源がオンになり、新しいサーバーを受け入れるように UUID を再プログラミングできるようになります。新しいサーバーで POST サイクルが完了すると、サーバープロファイルは新しく取り付けられたサーバーに再び割り当てられます。

Web サイト

全般的な Web サイト

Hewlett Packard Enterprise Information Library

<https://www.hpe.com/info/enterprise/docs>

Hewlett Packard Enterprise Worldwide

<https://www.hpe.com/assistance>

サブスクリプションサービス/サポートのアラート

<https://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

上記以外の Web サイトについては、[サポートと他のリソース](#)を参照してください。

製品の Web サイト

HPE OneView のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/synergy-docs>

HPE 3PAR StoreServ ストレージ

<https://www.hpe.com/info/storage>

HPE Integrated Lights-Out (iLO)

<https://www.hpe.com/jp/servers/ilo>

Insight Remote のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs>

HPE Primera のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/Primera600-docs>

HPE Insight Control のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/insightcontrol/docs>

HPE OneView Global Dashboard のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/ovgd-docs>

Smart Update (SUM/SPP/iSUT/iSUT) のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/sut-docs>

Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) の Storage compatibility matrix

<https://www.hpe.com/storage/spock>

ストレージのホワイトペーパーおよび分析レポート

<https://www.hpe.com/storage/whitepapers>



HPE Synergy のドキュメントリソース

Hewlett Packard Enterprise Information Library (<https://www.hpe.com/info/synergy-docs>) では、インストール手順書、ユーザーガイド、メンテナンスおよびサービスガイド、ベストプラクティス、追加リソースへのリンクなど、すべての HPE Synergy ドキュメントを包括的に 1 箇所に集めたライブラリを提供します。ライブラリは、検索性を向上させるフィルタリングをサポートしています。

ドキュメント:

以下を提供:

HPE Synergy ソリューション

はじめに	ハードウェアのインストールから HPE OneView の構成まで、HPE Synergy ソリューションの初回セットアップ手順。
リリースノート	HPE Synergy、HPE Synergy イメージストリーマー、HPE OneView などの製品のリリースの説明、新機能、ドキュメントのアップデート、問題と推奨処置。
移行ガイド	HPE Synergy コンポーザーから HPE Synergy コンポーザー 2 への移行、および HPE Synergy フレームリンクモジュールから HPE Synergy 4 ポートフレームリンクモジュールへの移行に関する情報。
HPE Synergy アプライアンスのファームウェアの確認 : HPE Synergy アプライアンスの初期セットアップの準備	システムでの初期使用のために HPE Synergy アプライアンスを準備する手順。
アプライアンスユーザーガイド	アプライアンスのモジュール管理、構成、およびセキュリティの概要。
ケーブル接続ガイド	管理ネットワーク、HPE Synergy イメージストリーマー、インターコネクト、および電源のケーブル接続例。
構成および互換性ガイド	HPE Synergy 管理とファブリックアーキテクチャー、詳細なハードウェアコンポーネントの識別、およびハードウェアコンポーネントの構成要件の概要。
フレームリンクモジュールユーザーガイド	HPE Synergy 4 ポートフレームリンクモジュール、HPE Synergy フレームリンクモジュール、および HPE Synergy 管理コンソールの管理、構成、およびセキュリティに関する情報。
Power Management Overview Guide	HPE Synergy が HPE Synergy 12000 フレームの電力使用量を管理する方法に関する追加の詳細情報。
メンテナンス&サービスガイド	『メンテナンス&サービスガイド』には、HPE Synergy 製品のスペアパーツリストと交換手順が記載されています。これらの製品には、アプライアンスモジュール、コンピュートモジュール、ストレージモジュール、インターコネクトモジュール、および HPE Synergy 12000 フレームが含まれます。
トラブルシューティングガイド	一般的な問題を解決するための情報、および障害の分離と特定、問題の解決、およびメンテナンスのための一連のアクション。
エラーメッセージガイド	特定のエラーメッセージに関連する問題を解決するための情報。
ドキュメントマップ	必要な HPE Synergy ドキュメントをフィルタリングして見つけるための説明マップ。

表は続く

ドキュメント:	以下を提供:
用語集	製品の理解と、HPE Synergy エコシステムの習熟に役立つ用語、説明、および図面。
HPE Synergy イメージストリーマ	
展開ワークフロー	OS 展開用の HPE Synergy イメージストリーマーのセットアップに関連するさまざまな手順のインタラクティブな説明、および手順の詳細な指示を含むさまざまなドキュメントへの参照。
サポートマトリックス	HPE Synergy イメージストリーマーに関する、ソフトウェアおよびファームウェアの最新要件、サポート済みハードウェア、および最大構成。
ユーザーガイド	HPE Synergy イメージストリーマーを使用した OS 展開プロセス、HPE Synergy イメージストリーマーの機能、および HPE Synergy イメージストリーマーアーティファクトの目的とライフサイクル。また、HPE Synergy イメージストリーマーの認証、権限付与、およびトラブルシューティングに関する情報も含まれます。
GitHub	サンプルアーティファクトと、サンプルアーティファクトの使用法に関するドキュメントが含まれるレポジトリ (github.com/HewlettPackard)。また、HPE Synergy イメージストリーマーを使用して実行できる展開手順について説明するテクニカルホワイトペーパーも含まれます。
ヘルプ	HPE Synergy イメージストリーマーの基本的な概念とユーザーインターフェイススペースのタスクに関する情報。
HPE OneView (HPE Synergy 用)	
サポートマトリックス (HPE Synergy 用)	HPE OneView に関する、ソフトウェアおよびファームウェアの最新要件、サポート済みハードウェア、および最大構成。
ユーザーガイドおよびヘルプ (HPE Synergy 用)	リソース機能、プランニングタスク、クイックスタートタスクの構成、グラフィカルユーザーインターフェイスのナビゲーションツール、および HPE OneView のサポートと参照情報。
Global Dashboard のユーザーガイドおよびヘルプ	HPE OneView Global Dashboard のインストール、構成、ナビゲーション、およびトラブルシューティングについての説明。
HPE Synergy のトラブルシューティングガイド	HPE Synergy Composer に組み込まれている HPE OneView の一般的なトラブルシューティング手順。
トラブルシューティングの資料	ツール、オンラインヘルプ、トラブルシューティングガイド内のトラブルシューティング画面。

HPE Synergy ファームウェアアップデートリソース

HPE OneView (HPE Synergy 用):	以下を提供:
ファームウェアおよびドライバーのアップデートガイド	ファームウェアのアップデート方法、および HPE OneView が提供するファームウェアおよびドライバーをアップデートするための推奨のベストプラクティスに関する情報。



HPE Synergy ソフトウェアリリース情報サイト (<https://www.hpe.com/info/synergy-sw-release-information>) では、ファームウェアアップデート情報のインタラクティブリソースを提供します。HPE Synergy ファームウェアアップデートリソースは、HPE OneView 内でも利用できます。

図 1: HPE Synergy ソフトウェアリリース情報

HPE Synergy Software Releases - Overview

HPE Synergy Software Releases, comprised of HPE Synergy Management combinations (a versioned set of Composer and Image Streamer software) and HPE Synergy Custom SPPs, are available for customers to download and use on products under an active HPE Warranty or an HPE Support Agreement.

HPE Synergy Management combinations and supported HPE Synergy Custom SPPs

This table identifies the HPE Synergy Custom SPPs supported by the various management combinations. An HPE Synergy Custom SPP is considered supported if it is listed in the row with the selected management combination. **Recommended versions** and associated HPE Synergy Custom SPPs are shown in **bold** font.

NOTE: HPE Synergy Custom SPPs marked in red will reach end-of-support (EOS) in May 2020.

Select a management combination to access the HPE Support Center page, where you can view additional information and download software and firmware for the selected management combination.

HPE SYNERGY MANAGEMENT combinations	NOV Core SPP 2018.11.0	MAR Core SPP 2019.03.1	SEP Core SPP 2019.09.0	DEC Core SPP 2019.12.0
	End-of-Support: May 2020			

HPE Synergy 5.0 Release

Composer (HPE OneView) 5.00.02.6
Image Streamer 5.00.01

HPE Synergy ソフトウェア リリース情報サイト : 以下を提供 :

Overview	ダウンロードページおよび関連する Synergy カスタム SPP へのリンクが記載された HPE Synergy 管理ソフトウェアの組み合わせのリスト。
What's new	HPE Synergy リリースの新機能のリスト。
Firmware Comparison Tool	選択された HPE Synergy 管理ソフトウェアの組み合わせによってサポートされる HPE Synergy カスタム SPP を比較するために使用する HPE Synergy 管理ソフトウェアの組み合わせリスト。このツールは、以前の管理ソフトウェアの組み合わせと互換性があるカスタム SPP を確認する場合にも役立ちます。
Firmware Feature Table	選択された HPE Synergy 管理ソフトウェアの組み合わせによってサポートされる HPE Synergy カスタム SPP を比較するために使用するファームウェア機能のリスト。
Upgrade Paths Table	HPE Synergy コンポーザーと HPE Synergy イメージストリーマーのアップグレードパス、および HPE Synergy 管理ソフトウェアの組み合わせに関する情報。
VMware OS Support	VMware vSphere OS を HPE Synergy カスタム SPP で使用するための情報と要件。

表は続く



HPE Synergy ソフトウェア リリース情報サイト 以下を提供 :

Upgrade Paths for Past HPE Synergy Releases	過去の HPE Synergy コンポーザーと HPE Synergy イメージストリーマーのアップグレードパス、および HPE Synergy 管理ソフトウェアの組み合わせに関する情報。
Identifying Upgrade Paths	アップグレードパス表の使用方法に関する情報。
HPE Synergy Resources	HPE Synergy の主要なリソースのリスト。
Hewlett Packard Enterprise Information Library	すべての HPE Synergy 製品ドキュメントのソリューションレベルライブラリ。



HPE Synergy ドキュメントの概要（ドキュメントマップ）

Hewlett Packard Enterprise Information Library (<https://www.hpe.com/info/synergy-docs>) では、インストール手順書、ユーザーガイド、メンテナンスおよびサービスガイド、ベストプラクティス、追加リソースへのリンクなど、すべての HPE Synergy ドキュメントを包括的に 1 箇所に集めたライブラリを提供します。ライブラリは、検索性を向上させるフィルタリングをサポートしています。

さらに、HPE Synergy ソフトウェアリリース情報サイト (<https://www.hpe.com/info/synergy-sw-release-information>) では、ソフトウェアリリース情報のインタラクティブリソースを提供します。

ソフトウェアリリース情報	管理
<ul style="list-style-type: none">・ HPE Synergy Software releases - Overview・ HPE Synergy Software releases - What's new・ HPE Synergy Firmware Comparison Tool・ HPE Firmware Feature Comparison Table・ HPE Synergy Upgrade Paths・ VMware OS Support Tool for HPE Synergy・ Upgrade Paths for Past HPE Synergy Releases・ Identifying Upgrade Paths・ HPE Synergy Resources	<ul style="list-style-type: none">・ HPE OneView (HPE Synergy 用) ユーザーガイド・ HPE Synergy イメージストリーマーヘルプ・ HPE Synergy イメージストリーマーユーザーガイド・ HPE Synergy イメージストリーマー API リファレンス・ HPE Synergy イメージストリーマー展開ワークフロー・ HPE Synergy フレームリンクモジュールユーザーガイド
プランニング	監視
<ul style="list-style-type: none">・ HPE Synergy 移行ガイド・ HPE Synergy 12000 Frame Site Planning Guide・ HPE Synergy 構成および互換性ガイド・ HPE OneView (HPE Synergy 用) サポートマトリックス・ HPE Synergy イメージストリーマーサポートマトリックス・ Setup Overview for HPE Synergy・ HPE Synergy Software Overview Guide	<ul style="list-style-type: none">・ HPE OneView (HPE Synergy 用) ユーザーガイド・ HPE OneView Global Dashboard ユーザーガイド

表は続く



ハードウェアの取り付け

- ・ HPE Synergy はじめに（フレームに付属）
- ・ HPE Synergy 12000 フレームセットアップ/インストールガイド
- ・ HPE ラックレールインストール手順 HPE Synergy 12000 フレーム用（フレームに付属）
- ・ HPE Synergy 12000 Frame Rack Template（フレームに付属）
- ・ フードラベル
- ・ ユーザーガイド
- ・ HPE Synergy ケーブル接続ガイド
- ・ HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用 — ハードウェアセットアップ

メンテナンス

- ・ Product maintenance and service guides
- ・ HPE OneView for HPE Synergy Firmware and Driver Update Guide
- ・ HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用
- ・ HPE OneView（HPE Synergy 用）ユーザーガイド
- ・ HPE Synergy Appliances Maintenance and Service Guide

管理および監視の構成

- ・ HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用
- ・ HPE OneView（HPE Synergy 用）ユーザーガイド
- ・ HPE OneView API リファレンス HPE Synergy
- ・ ユーザーガイド
- ・ HPE Synergy ソフトウェアリリース情報サイト

トラブルシューティング

- ・ HPE OneView アラートの詳細
- ・ HPE Synergy トラブルシューティングガイド
- ・ HPE ProLiant Gen10 サーバーおよび HPE Synergy エラーメッセージガイド
- ・ HPE ProLiant Gen10 および HPE Synergy 用のインテグレートドマネジメントログメッセージおよびトラブルシューティングガイド
- ・ HPE OneView API リファレンス HPE Synergy
- ・ HPE OneView トラブルシューティングガイド（HPE Synergy 用）
- ・ HPE Synergy イメージストリーマー API リファレンス



HPE OneView Remote Technician

HPE OneView Remote Technician を使用すると、問題のトラブルシューティングおよび解決のサポートが迅速かつ容易になります。招待により、認証された Hewlett Packard Enterprise サポート技術者が、問題のトラブルシューティングと診断に安全な TLS 接続を通じて HPE OneView アプライアンスにアクセスします。FTP サイトを必要としないログの直接ダウンロードなど、信頼されたサポート技術者が問題を診断する際に現場にいる必要がありません。

HPE OneView Remote Technician は、追加のアプリケーションなしで HPE OneView 4.1 以降に組み込まれています。



サポートと他のリソース

Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ・ ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/info/assistance>

- ・ ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

ご用意いただく情報

- ・ テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- ・ 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- ・ オペレーティングシステム名およびバージョン
- ・ ファームウェアバージョン
- ・ エラーメッセージ
- ・ 製品固有のレポートおよびログ
- ・ アドオン製品またはコンポーネント
- ・ 他社製品またはコンポーネント

アップデートへのアクセス

- ・ 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるソフトウェアアップデート方法を確認してください。
- ・ 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター：ソフトウェアのダウンロード

<https://www.hpe.com/support/downloads>

My HPE Software Center

<https://www.hpe.com/software/hpesoftwarecenter>

- ・ eNewsletters およびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- ・ お客様の資格を表示、アップデート、または契約や保証をお客様のプロファイルにリンクするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **More Information on Access to Support Materials** ページに移動します。



- ❗ **重要:** 一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品資格が必要になる場合があります。関連する資格を使って HPE パスポートをセットアップしておく必要があります。

リモートサポート（HPE 通報サービス）

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

リモートサポートおよびプロアクティブケア情報

HPE 通報サービス

<http://www.hpe.com/jp/hpalert>

HPE プロアクティブケアサービス

<http://www.hpe.com/services/proactivecare-ja>

HPE データセンターケアサービス

<http://www.hpe.com/services/datacentercare>

HPE プロアクティブケアサービス：サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecaresupportedproducts>

HPE プロアクティブケアアドバンストサービス：サポートされている製品のリスト

<https://www.hpe.com/jp/ja/services/proactive-care-central.html>

保証情報

ご使用の製品の保証情報を確認するには、以下のリンクを参照してください。

HPE ProLiant と IA-32 サーバーおよびオプション

<https://www.hpe.com/support/ProLiantServers-Warranties>

HPE Enterprise および Cloudline サーバー

<https://www.hpe.com/support/EnterpriseServers-Warranties>

HPE ストレージ製品

<https://www.hpe.com/support/Storage-Warranties>

HPE ネットワーク製品

<https://www.hpe.com/support/Networking-Warranties>

規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<https://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterprise は、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則 EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACH を含む Hewlett Packard Enterprise 製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/ecodata>

社内プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などの Hewlett Packard Enterprise の環境に関する情報については、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/environment>

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 (docsfeedback@hpe.com) へお寄せください。このメールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。

